

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	神戸山手大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	コウベヤマテダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	コープ4
	学部・研究科等名	現代社会学部
	担当教職員名・役職	山本 健 准教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	23
	受入企業等数	16
	受入企業等名	マリンロジマレア、宮古島東急ホテル&リゾート、西村屋、六甲ミーツアート、JNETレンタカー石垣、湯の峰荘、ウエスティンホテル淡路、エコガイドカフェ、神戸メリケンパークホテル、JNETレンタカー宮古島、ホテルラフォーレ南紀白浜、リザンシーホテル谷茶ベイ
	インターンシップの分類	2.有給インターンシップ,4.他県をまたぐ広域インターンシップ,5.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業の専任職員がおこなう通常業務の補助、PRツール作成、新規案の企画検討およびプレゼン。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次~4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	4単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	冬期、春期および夏期休業期間中に実施。20日間以上の実習に事前学習と事後学習・成果発表を組み合わせ、それらすべてを評価対象として単位認定している。カリキュラム上では「専門科目」として配当。履修する学年は問わない。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	前期におこなう事前学習では、マナートレーニング(3回)、企業研究(3回)、協調性を高めるトレーニング(2回)、キャリアデザインに関する講義(3回)等、企業実習前に必要と思われる内容をまとめている
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	後期におこなう事後学習では、学生に、実習先の企業・業界についてさらに研究を深めた上で、5回にわたり実習報告をさせている。さらに、今後の就職活動に向けて必要と思われる内容を講義し、学生の成長を支援している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている,2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている,3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前学習時のキャリアデザインに関するレポートおよびアンケートと、実習後の報告発表を比較することにより、学生の就業に関する意識・モチベーションを客観的に把握している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	20日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	

㉔	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入企業において、20日間のインターンシップをおこなっている。
要素 ⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前学習に組み込んでいる企業研究において、外部講師として企業等の担当者を招聘している。また、インターンシップ中の学生に対する評価は、企業から返送していただく評価票(本学作成)を参考にしている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="http://www.kobe-yamate.ac.jp/univ/course/syllabus/syllabus/">http://www.kobe-yamate.ac.jp/univ/course/syllabus/syllabus/</a>
問い合わせ先	大学等名	神戸山手大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	課長
	担当者氏名	松岡 正樹
	電話番号	078-341-3056
	メールアドレス	shushoku@kobe-yamate.ac.jp